

資料番号	0608-01-001-09	0608-01-001-09	0608-01-003-01	0608-01-006-05	0608-01-006-06
調査年月	2004/6/8	2004/6/8	2004/6/8	2004/6/22	2004/6/22
調査者	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂
糸	素材	経糸、緯糸共に絹	絹	絹	絹
	タテ		絹	絹	絹
	ヌキ		絹(赤色)および箔糸	絹	絹
色	地色	暗赤紫色	暗赤紫色	外観は赤色	地色 薄い土色 柄部は青、黄、紫、朱
	糸色				
	タテ				
	ヌキ				
加工技法	織技法	地部は変化朱子、柄部は変化平織り。緯糸は太い平糸と細い強撚糸を一越配列した紋織り。	地部は変化朱子、柄部は変化平織り。緯糸は太い平糸と細い強撚糸を一越配列した紋織り。地部では外観グループ状を呈し、柄部の花模様では更に「しぼ」状効果を呈し模様部(花柄)で立体感を生み出している。	経糸は生糸使い？緯糸は赤色の太い糸と箔(細幅)糸を交互に配列し、部分的に箔糸の浮沈を経糸の押え効果によって表現する。紋技法による効果と考えられる。	経絣織り(仮織りによる経絣加工後、製織)縦絣糸は捺染加工によるもの
	染技法				経絣糸は捺染加工によるもの
	その他				
文様		バラ様花柄	ランダムなモアレ柄	花柄	花柄
形状			裂地		
用途		婦人向外衣用？	不明	絹外衣用	絹外衣用？
特記事項		地部では外観はグループ状を呈し、柄部の花模様では更に「しぼ」状の効果を呈し、模様部(花柄)で立体感を生み出している。大胆な花柄を表現し、豪華さを強調している。	大胆な花柄を表現し、豪華さを強調している	「モアレ表現のマジック的表現」と云う付箋がある。表現法は極めて表現深い	絣表現による花柄は花卉、花蕊などを配する構成は、大胆かつ優雅な色調を呈する
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号	0608-01-006-07	0608-01-007-01	0608-01-008-02	0608-01-011-03	0608-01-011-04
調査年月	2004/6/8	2004/6/22	2004/6/22	2004/7/12	2004/6/22
調査者	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川 口 浩
名称	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂
糸	素材	絹	絹	柄部はレーヨン	経糸:絹、緯糸:金糸
	タテ	絹	絹	絹	絹および丸撚金銀、
	ヌキ	絹	絹	絹	丸撚金糸
色	地色		ベージュ色	地部は黒色 柄部は赤及びグレー色	淡い紺色
	糸色				
	タテ				
	ヌキ				
加工技法	織技法	平組織ながら縞経糸の色系を並列、又は交互に配列するなど、格子縞の経縞で流れ状の効果を呈する。経糸の色系配列の妙を巧みに生かした格子縞としては興味が深い。	縞柄の柄出しは緯糸の浮き効果による	二重ビロード(シホンベルベット)で製織する 地部分は平織組織	経糸、緯糸ともに強撚糸にて、経糸は紫色、緯糸は薄い紺色にて製織し、絹ボイル調生地
	染技法		経緯糸とも先染め糸	経糸、緯糸共に先染め糸	柄部分は経糸を濃淡のあるプリント染色
	その他				
文様	赤、黒、白の格子縞柄	経縞柄	樹木様の柄	無地	不定形柄
形状	裂地				
用途	絹婦人服	絹外衣用?	絹外衣用?	婦人インナー用?	絹外衣用?
特記事項		縞柄表現は丸撚りの金糸を用い、縞の間隔は粗密の部分を巧みに配してユニークな縞柄を呈す。	地部分はジョーゼット(経、緯糸ともに強撚糸使用)織りとし、パール糸は先染めレーヨンを使用して製織し、ついで柄部分を残して他は溶解(溶剤は不明)することで模様を表現する。	薄い地合いのボイル調の生地ながら、玉色調の外観を呈する。	地部分は丸撚り金糸を経糸緯糸ともに供し、柄部分の絹未染色糸を例えば刷毛で染色加工するようにボカシ効果を出す。概して金糸をベースとしながら柄部は多色のグラデーション効果をもって豪華さを呈する
調査所見			所謂オパール加工による豪華な色柄を表現する		
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号	0608-01-012-08	0608-01-012-08	0608-01-014-05	0608-01-014-05	0608-01-019-05
調査年月	2004/6/22	2004/6/22	2004/6/22	2004/6/22	2004/7/12
調査者	川口 浩	川 口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂
糸	素材	絹	絹	絹	
	タテ	絹	絹	絹	絹、レーヨン
	ヌキ	絹 柄糸絹	絹	絹	絹
色	地色	青色の基調色	青色の基調色	白、赤、青	地部：濃紺 柄部：赤、紺
	糸色				
	タテ				
	ヌキ				
加工技法	織技法	地部は経系緯系ともに強撚糸によるジョーゼット織、柄部は無撚の太い平糸による紋織	地部分は経系、緯系ともに強撚糸によるジョーゼット織り。柄部は無撚りの太い平糸による紋織。緯糸（青色）は先染糸使用	単なる格子縞の織成であるが、縞柄には異色の配列で表現	経系、緯系ともに強撚糸使いのジョーゼット地とパイル経はレーヨンをうい柄部分は溶出して柄表現。オパール加工による
	染技法	緯糸（青色）は先染糸を使用		経・緯系ともに先染糸	
	その他				
文様	不定形幾何学模様		格子縞柄		正方形、浮出し柄
形状					
用途	絹外衣用？		絹インナー用？		絹婦人服地
特記事項	地部分はジョーゼット織とし柄は紋織によって不定形な幾何模様。特に窓枠をもうけたような部分がユニークな裂地として特徴づけられている	地部はジョーゼット織りとし、柄は紋織りによって不定形な幾何模様、特に窓枠を設けたような部分がユニークな裂地として特徴付けられる	一般に例を見ない格子縞柄を特色とする	一般に例の見ない格子縞柄を特色とする。	オパール加工による浮きだし柄は大柄な肉厚効果を出している。
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号		0608-01-021-03	0608-01-023-07	0608-02-003-01
調査年月		2004/7/12	2004/6/8	2004/6/8
調査者		川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称		絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂
糸	素材	絹		
	タテ	絹	絹および箔撚糸	絹
	ヌキ	絹	絹	絹(赤色)および箔糸
色	地色	淡紺色	金色	外観は赤
	糸色			
	タテ			
	ヌキ			
加工技法	織技法	経糸、緯糸ともに強撚糸にて、経糸は紫色、緯糸は薄い紺色にて製織し、絹ボイル調生地	経、緯糸ともに強撚糸利用のジョーゼット地に箔撚糸を経糸使いによる紋織り組織	
	染技法			
	その他			
文様		無地	不定型の幾何模様	
形状			裂地	
用途		婦人インナー用？	絹ガウン？	
特記事項		薄い地合いのボイル調の生地ながら、玉色調の外観を呈する。	柄表現の特色は経糸箔撚糸は押し加工による扁平箔撚糸使用であることによる。これにより立体感のあるふくれ効果を呈している	
調査所見				
製作地				
製作年				
織名称				
法量	縦			
	横			
	織耳			
備考				